

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	会計学特論	
科目基礎情報							
科目番号	0011		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	経営情報工学専攻		対象学年		専1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	なし						
担当教員	田川 晋也,苗 馨允						
到達目標							
1.会計基準の国際的収斂化について説明できる。 2.IFRSの導入過程について説明できる。 3.会計データに統計的処理を施すことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	会計基準の国際的収斂化について説明できる。		会計基準の国際的収斂化について概ね説明できる。		会計基準の国際的収斂化について大抵説明できる。		会計基準の国際的収斂化についてほぼ説明できない。
評価項目2	IFRSの導入過程について説明できる。		IFRSの導入過程について概ね説明できる。		IFRSの導入過程についてほぼ説明できない。		IFRSの導入過程についてほぼ説明できない。
評価項目3	会計データに統計的処理を施すことができる。		会計データに統計的処理を概ね施すことができる。		会計データに統計的処理を大抵施すことができる。		会計データに統計的処理を施すことがほぼできない。
学科の到達目標項目との関係							
JABEE (d)-(1) 教育目標 (C) ①							
教育方法等							
概要	3学期に開講。会計学特論では、会計基準の国際的収斂化について検討をする。						
授業の進め方・方法	専門科目に入ると、初めて聞く内容が増えてきて理解するのも大変になります。この講座では、教科書に出てくる難解な内容をできるだけかみくだいて説明したり、身の回りの具体的なものに例えて説明することを心がけて授業を行う予定です。進む進度もすこしゆっくりめに設定しています。						
注意点	講義は、輪読、プレゼンテーション方式で実施する。発表する学生は、毎回、パワーポイントを作成すること。学生は、毎回、授業に出席する際は、その回で学習する分野の事前学習をしておくこと。自分の発表担当以外の個所もしっかりテキストを読み準備をしておくこと。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	1. コンバージェンスをめぐる国際的な動向 歴史的展開 コンバージェンスをめぐる現状と課題 IASBの活動			会計の国際的なコンバージェンスの動きについて説明できる。	
		2週	コンバージェンスをめぐる基本思想①			国際財務報告基準の基本的枠組みが説明できる。	
		3週	コンバージェンスをめぐる基本思想②			概念フレームワーク、財務報告の主体と範囲について説明できる。	
		4週	コンバージェンスをめぐる基本思想③			認識と測定について説明できる。	
		5週	コンバージェンスをめぐる基本思想④			まとめ	
		6週	金融商品会計			金融商品会計のしくみについて議論できる	
		7週	年金の会計			年金の会計のしくみについて議論できる	
		8週	実現概念の変容について①			伝統的な実演概念について説明できる。	
	4thQ	9週	実現概念の変容について②			実現概念の拡張について説明できる。	
		10週	IFRSに基づく財務諸表の作成①			安全性、収益性について説明する。	
		11週	IFRSに基づく財務諸表の作成②			効率性、成長性について説明する。	
		12週	ホリスティック観①			ホリスティック観の意義について説明できる。	
		13週	ホリスティック観②			ホリスティック観と他の会計官の相違について説明できる。	
		14週	ホリスティック観③			ホリスティック観を用いて日本の会計環境を分析できる。	
		15週	授業改善アンケートの実施				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	0	100	100
思考・推論・創造への適用力	0	0	0	0	0	0	0
汎用的技能	0	0	0	0	0	0	0
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	0	0

総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	0	0
-----------------	---	---	---	---	---	---	---